

# 利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所  
 発行人 宇敷 重信  
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地  
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180  
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp

## 学校教育係

### —今後の授業改善に向けて④(指導案検討における「ねらい」の吟味)—

要請訪問(B)が終わりました。校内研修において「ねらいの明確化」を重視して指導案検討をする学校が増えてきました。しかし、「ねらい」を吟味するのは依然として難しいという話も聞きます。今回は、学習指導要領解説、国立教育政策研究所の資料、教科書を基に教材研究を充実させ、学習指導要領の目標や内容を踏まえた適切な「ねらい」を設定する方法を紹介しました。今回は、「ねらい」に記述されている「…を考える」「…を工夫する」などのキーワードを具体化し、子どもに身に付けさせるべき内容や資質・能力を明確にしていく方法を紹介し、各学校の指導案検討において是非活用してください。

研修主任



今回の指導案検討では、「ねらい」に示された言葉を丁寧に確認し、子どもが「何を」「どのように」「どこまで」できればいいのかを具体化しよう。

授業者



えっ！「ねらい」しか検討しないの？

それよりも「楽しい活動」や「活発な活動」にするためのヒントが欲しいなあ。

**【ねらい(例)】 伴って変わる2つの数量の関係を考えることができる。** (4年算数：かわり方)

[教科書の問題(例)]

一辺が1cmの正方形を並べて、右の図のような階だんの形をつくります。  
 だんの数とまわりの長さには、どんな関係があるか調べましょう。

1だん 2だん 3だん 4だん ...



「関係を考える」とは、どういうことでしょうか？(学習指導要領解説、国立教育政策研究所の資料、教科書を基に検討)

関係を考えるためには、決まりを見いだす必要があります。…対応の決まりを見だし、それらの関係を考える。  
[国研の資料]

決まりを見つけるには表がいんですね。  
…表などに整理して、共通の決まりを見つけだしていく。  
[学習指導要領解説]

表からわかる決まりって何ですかね？

段の数	1	2	3	4
周りの長さ	4	8	12	16



教科書を見ると…

①段の数が1増えると周りの長さは4ずつ増える。

②周りの長さは段の数の4倍になる。

この2つが決まりだね。

教科書では②の決まりを [段の数] × 4 = [周りの長さ] という式に表している。「関係を考える」とは、ここまでを指しているんだね。



「ねらい」を吟味したら、およその評価項目が見えてきたね。  
伴って変わる2つの数量の関係について、表から変化や対応の決まりを見だし、言葉の式を考える。

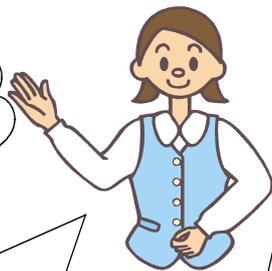
「楽しい活動」を考える前に、確実に押さえるべきことや、考えさせるべきことは何かを明らかにする必要があります。次は、実態を考慮して全員が「ねらい」を達成できるような「楽しい学習活動」を考えよう！



不思議！「ねらい」を話し合っているうちに、授業のイメージが湧いてきた！

## 一子どもの健やかな成長・発達を目指したPTA活動（県優良PTA表彰団体）

園児が、想像する楽しさを味わいながら、言葉に対する感覚を豊かにしていきます。



親子で心の交流を深めながら、基本的な生活習慣や社会のルールの大切さを確かめています。

### ◆「おはなしの会」による読み聞かせ活動◆

～個々の園児の要望に応じて～

#### 【川場村立川場幼稚園PTAの実践例】

「おはなしの会」は、保護者が中心となって組織・運営されています。毎月1回来園し、各年齢に応じた絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っています。

最初に、クラス別の読み聞かせを行い、その後、子どもの要望に応じて、教室や多目的ホールなどで、マンツーマン方式や少人数の読み聞かせを行っています。



《クラス別での読み聞かせ》

●友達と一緒に感動したり、物語の世界に入り込んだりする楽しさを味わうことができます。

●自分では選べないような絵本や物語にも幅広く触れることができます。

《マンツーマンでの読み聞かせ》

●自分の興味や関心のある読み物を落ち着いた雰囲気の中で味わうことができます。

●自分のペースでじっくりイメージを広げながら言葉に対する感覚を磨くことができます。



### ◆父親クラブによる親子ふれあい活動◆

～「ルールブック50」の看板づくりを通して～

#### 【昭和村立南小学校PTAの実践例】

PTA会員有志で組織された父親クラブは、「親子（特に父親）のふれあい」に焦点をあて、親子で楽しく活動できる事業を企画し、精力的に活動しています。その取組の一例として「ぐんまの子どものためのルールブック50」の看板を親子で製作し、学区内に設置して地域の方にアピールしています。



《親子での看板づくり》

●親子で力を合わせて看板をつくることにより、心の交流を深めることができます。

●「ルールブック50」を取り上げることで学校や家庭における生活を親子で振り返る機会となります。

《学区内への看板の設置》

●PTA活動の取組を地域にPRし、理解や協力を得ています。

●地域の方にとっても社会のルールについて振り返る機会となっています。



小学校における読書習慣、言語能力の育成の基盤づくりとなる活動です。

家庭を中核として、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てていこうとする意識を高める活動です。